

名 誉 会 員 推 挙

石 原 重 孝 殿

現 職	YBS株式会社 監査役 兼 株式会社 吉田組 顧問
略 歴	1975年3月 神戸大学大学院工学研究科修了 1975年4月 鹿島建設株式会社入社 1977年11月 同 仙台支店 日本鉄道建設公団 小本川橋梁工事（～1978年12月） 1980年2月 ドイツ ディビダーク社留学 1989年4月 同 東北支店 東日本旅客鉄道 青森大橋工事 課長（～1992年4月） 1992年5月 同 土木設計本部 設計長 1995年1月 同 四国支店 日本道路公団 池田湖橋工事 所長（～2000年3月） 2006年7月 同 本社 土木営業本部 営業統括部長 2012年9月 同 退職 2012年10月 株式会社 吉田組入社 常務執行役員
本工学会歴	正会員（1976年4月より現在に至る）、会誌編集委員
主な表彰歴	2002年 土木学会 デザイン賞 優秀賞（池田へそつ湖大橋）
主な業績	国内長大PC斜張橋の設計施工技術の発展に貢献（呼子大橋, 青森ベイブリッジ）、国内初トラスカンチレバーによるバランスドアーチ橋の設計施工技術の開発（池田へそつ湖大橋）、ディビダーク社留学からPC卵形消化槽の日本への技術導入と普及（横浜市北部第二処理場ほか多数）

宇 治 公 隆 殿

現 職	東京都立大学名誉教授
略 歴	1980年3月 東京都立大学大学院工学研究科修士課程修了 1980年4月 大成建設株式会社入社 1980年10月 同 技術研究所 1993年3月 横浜国立大学 博士(工学)取得 1998年4月 大成建設株式会社 技術研究所 土木材料研究室室長 2000年4月 東京都立大学大学院工学研究科 助教授（2005年4月大学名称変更） 2006年10月 首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授 2015年4月 首都大学東京都市環境学部長兼都市環境科学研究科長（～2021年3月） 2021年4月 東京都立大学（名称変更）名誉教授，特任教授（～2022年3月）
本工学会歴	正会員（2003年6月より現在に至る） 理事（2012年～2018年），常務理事（2013年～2014年），副会長（2015年～2016年）， 会長（2017年～2018年），コンクリート構造診断士委員会，PC工学会賞選考委員 会，会員増加推進小委員会，大規模自然災害PC構造研究委員会の委員長を歴任
主な表彰歴	2015年 日本コンクリート工学会賞（技術賞）受賞 2018年 日本下水道協会 奨励論文賞受賞
主な業績	理事，副会長，会長を歴任し，本工学会の発展に貢献，会員増加推進に尽力 学協会の委員長・幹事・委員を通して，材料・施工・補修補強の研究開発推進， 特にコンクリートの締固め性評価，鉄筋間隙通過性に関する研究に取り組み，コ ンクリート品質確保技術の発展に貢献

二 羽 淳 一 郎 殿

現職	東京工業大学名誉教授，株式会社高速道路総合技術研究所フェロー
略歴	1978年3月 東京大学工学部土木工学科卒業 1980年3月 東京大学大学院土木工学専攻修士課程修了 1983年3月 東京大学大学院土木工学専攻博士課程修了 工学博士取得 1983年4月 東京大学助手，7月より講師 1986年1月 山梨大学 助教授 1989年4月 名古屋大学 助教授 1998年4月 東京工業大学 教授 2021年3月 東京工業大学 定年退職，同名誉教授 2021年4月 株式会社高速道路総合技術研究所フェロー
本工学会歴	正会員（1984年3月より現在に至る） 理事（2003年～2020年），常務理事（2007年～2010年），副会長（2011年～2012年）， 会長（2013年～2014年）。会誌編集委員会，ナショナルレポート編集委員会，東日本大震災PC構造物災害調査委員会，コンクリート構造診断士委員会，PC工学会賞選考委員会の委員長を歴任。2021年5月より本工学会顧問
主な表彰歴	2004年，2007年 プレストレストコンクリート技術協会賞（論文部門）受賞 2010年 国土交通大臣賞受賞 2014年 土木学会研究業績賞受賞 2021年 プレストレストコンクリート工学会賞（論文賞）受賞
主な業績	理事，副会長，会長を歴任し，本工学会の発展に貢献 土木学会副会長・コンクリート委員会委員長，現在日本コンクリート工学会会長 でコンクリート工学の発展に指導的役割を果たした功績 構造設計に関する研究で考案したせん断耐力算定式が国内外の設計基準に採用 PCはり部材のせん断耐力評価法に関する研究論文で本工学会賞受賞（上記3回）

林 三 雄 殿

現職	株式会社 構研建築 代表取締役社長
略歴	1965年3月 芝浦工業大学工学部建築学科卒業 1965年4月 ピー・エス・コンクリート株式会社（現㈱ピーエス三菱）入社 1995年7月 株式会社ピー・エス（現㈱ピーエス三菱）本社建築技術部長 2001年10月 株式会社ピーシー建築技術研究所 代表取締役社長（出向） 2002年10月 株式会社ピーエス三菱 本社技術本部副本部長 2008年12月 株式会社ピーエス三菱 退職 2009年1月 株式会社構研建築 代表取締役社長
本工学会歴	正会員（1965年4月より現在に至る）
主な表彰歴	1990年，1996年 プレストレストコンクリート技術協会賞（論文部門）受賞
主な業績	PC建築技術の普及と発展に貢献（（仮称）海老名マンション（超高層免震構造PCaPC造）2001年，川崎水江物流倉庫（長大PCaPC造）2006年，共同研究「PC構造設計・施工指針の作成」研究推進会議委員），PC部材の復元力特性と超高層や免震構造のPC造建築物の時刻歴応答解析に必要なPC部材・PC造架構の履歴法則（林モデル）を研究・開発，日本初の超高層免震構造PC造建築物（海老名マンション）を設計

（五十音順）